

# 日本特撮アーカイブ

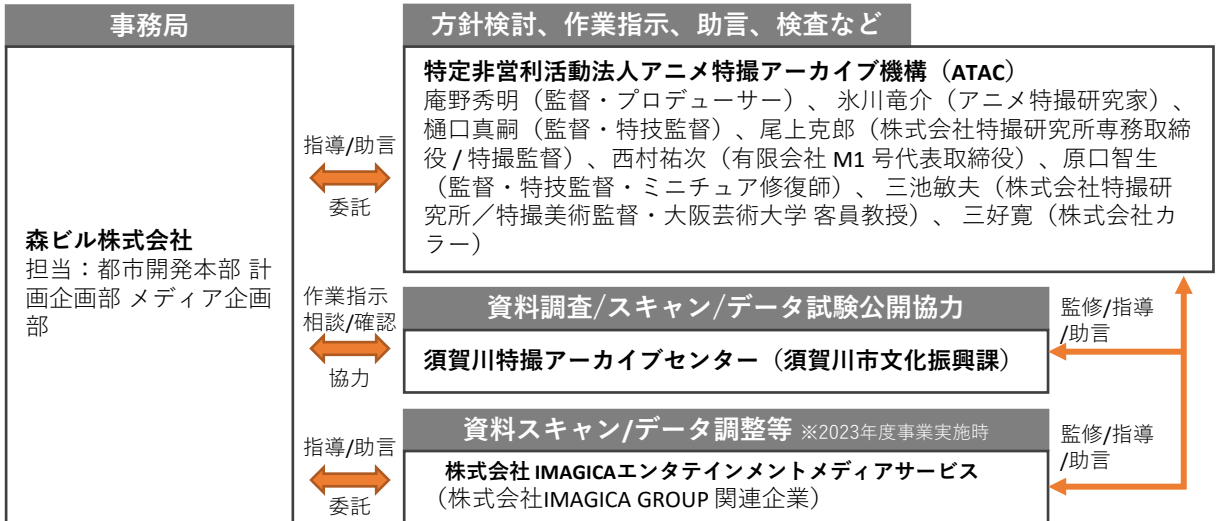
(中野昭慶特技監督・矢島信男特撮監督 画コンテ資料の調査/保存)

森ビル株式会社

## 概要/課題

日本特撮アーカイブは、特撮に関する中間制作物の保管・保全を第一の目的としている。中でもミニチュアなど一次資料となる現品は、適切な環境で永続的に保存していかなければならない。また、それらの展示・講演会・ワークショップ・上映会などを通して特撮の魅力を後世に伝えることで、特撮文化の継承に繋げていくことを目指している。

## 体制



## 成果

### 2015～2018年度：ミニチュア類の保存に向けた修復・復元

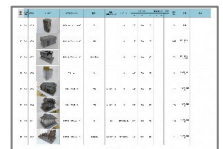
長期保存や展示等の利活用のために修復・復元の必要があったミニチュアの修復・復元を実施。2016～2018年にかけては円谷英二監督の最後の長編作品となった映画『日本海大海戦』で使用された全長6mの戦艦三笠の修復・復元を実施。須賀川特撮アーカイブセンター収蔵庫で同ミニチュアを公開中。



ミニチュア類の保存に向けた修復・復元

### 2019年度：「須賀川特撮アーカイブセンター」開館に向けた収蔵品のリスト化

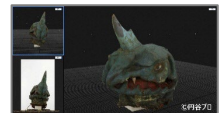
須賀川特撮アーカイブセンターで保管される特撮作品に使われたミニチュア・立体造形物・背景画・設計図面・写真・フィルムなど多岐にわたる品々について、円滑な施設開館に向けて収蔵品のリスト化作業を実施。



「須賀川特撮アーカイブセンター」開館に向けた収蔵品のリスト化

### 2020～2021年度：劣化が避けられない造形物のデジタルデータ化

現物保管が困難と言われてきた着ぐるみなどのラテックス（ゴム）製の造形物や大型の中間制作物について、3D立体スキャニング技術を活用した立体物のデジタルアーカイブを試行。須賀川特撮アーカイブセンター内で3Dデータを公開中。



劣化が避けられない造形物のデジタルデータ化

### 2022～2023年度：特撮美術監督・特撮監督の現場資料のデジタルアーカイブ

円谷英二監督の片腕として東宝の特撮専門の美術監督として活躍した渡辺明氏、1970～80年代の東宝大作路線を一身に背負う活躍をした中野昭慶氏、東映の映画とテレビ作品を中心に活躍し、特撮研究所を設立した矢島信男氏らの遺した現場記録写真や直筆絵コンテ等の資料調査・整理・デジタルアーカイブ（2Dスキャン/データ化）を実施。須賀川特撮アーカイブセンター公式WEBサイトで成果レポートを公開中。



渡辺明氏撮影の記録資料の2Dスキャン/データ化

<https://s-tokusatsu.jp/tag/%e8%aa%bf%e6%9f%bb%e7%a0%94%e7%a9%b6/>

### 【残された課題】

現在も特撮に関連した数多くの中間制作物の廃棄/散逸が続いており、保存されていても保管場所の維持や継続が困難なケースも各所で見られる。文化財産としての特撮中間制作物の保管・保全を今後も継続的に進めていくことはもちろん、アーカイブを担う人材の育成も課題である。

### 【公開方法/文化的・社会的・経済的な意義】

須賀川特撮アーカイブセンターにおける特撮関連中間制作物等の公開ならびに講演会・ワークショップなどを実施。各種展覧会等への展示協力や、須賀川特撮アーカイブセンター公式WEBサイトへの実施レポートの掲載も併せて行い、それら活動を通して特撮文化の普及啓発を行っている。